

# 緑のまち

第49号

令和5年11月30日発行

公益財団法人日野市環境緑化協会

〒191-0016 日野市神明2-13-1

☎042-585-4740

<https://www.hinoryokka.org/>



## 日野市環境緑化協会35周年



**増刊号**  
平成24年4月1日発行

**緑のまち**

公益財団法人日野市環境緑化協会  
〒191-0016 日野市神明2-13-1  
☎042-585-4740

**平成24年4月1日、  
公益財団法人として、新たにスタートします!**



理事長あいさつ

尾崎 義昭

日野市内の公園や雑木林、街路樹の木々も紅葉の季節となり、秋から冬へと移り変わりを感じる季節となりました。市民の皆様には新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、新たな生活環境が始まりましたが、引き続き当協会事業においてもご不便をおかけしていることと思っております。

日野市環境緑化協会は本年、法人化三十五周年を迎える運びとなり、日野市の緑化推進と当協会に永年に渡りご協力ご尽力いただいていた日野市民の皆様には、紙面をお借りして感謝申し上げます。

法人化より三十五年の年月が流れましたが、日野市における都市環境の向上を図るため、都市の緑化を推進し、緑と清流を守り、うるおい豊かな都市づくりに寄与することを目的とし、引き続き職員一同一丸となり事業を進めてまいります。

当協会が行っている事業活動としては、花壇植付けボランティア団体の募集、花の交流広場、庭木の手入れ講習会、菊コンテスト、緑の作文集、緑の写真展、市内の落ち葉を利用した腐葉土、肥料の販売、公園や公共施設への花の植付け、公園の清掃活動などを行っております。

日野市に緑がうるおい、豊かな都市へと発展し、花と緑が市民の心を癒し、少しでも市民の皆様が活躍がえられるよう今後も目指してまいります。

この「緑のまち」では、当協会の法人化三十五周年の御挨拶と事業を紹介させていただきます。

むすびに、今後とも市民の皆様から当協会への変わらぬご支援ご協力を紙面をお借りしてお願い申し上げます。

## 令和4年度 決算

収 益	基本財産運用益	140,000円
	事業収益	22,844,545円
	受取補助金等	21,301,372円
	受取寄付金	10,000円
	雑収益	700,083円
経常収益計		44,996,000円
費用	事業費	39,989,693円
	管理費	5,113,812円
経常費用計		45,103,505円

## 令和5年度 予算

収 益	基本財産運用益	115,000円
	事業収益	25,558,000円
	受取補助金等	23,901,000円
	受取寄付金	1,000円
	雑収益	2,000円
経常収益計		49,577,000円
費用	事業費	43,977,301円
	管理費	5,599,699円
経常費用計		49,577,000円

「事業計画書・予算書」「事業報告書・決算書」については、緑化協会ホームページをご覧ください。緑化協会事務所に備え付けてありますので、お気軽にお越しください。

## 腐葉土・肥料 販売

**腐葉土** 緑化協会職員が公園の落ち葉を利用して作り、基準に基づき適正に出荷・販売しています。

44ℓ……800円 20ℓ……400円 4ℓ……100円

**乾燥肥料** 油粕・魚粉・米ぬかを材料に発酵させて作ります。地球にやさしい有機肥料です。(緩効性)

400g……100円

**化成肥料** [窒素：リン酸：カリ]の成分が[5：5：5]で配合されている肥料を小分けにして販売しています。

160g……30円

**販売場所・時間** 緑化協会事務所：平日 8:30～17:15

\* 1回の購入には数量制限があります。ご理解とご協力をお願いします\*



“#SDGs”

## 役員名簿

(順不同)

理事長	尾崎 義昭
副理事長	国分 知子
常務理事	福田 博保
理事	志村 進一
理事	宗 昌枝
理事	石坂 昌子
理事	坂田 勉
理事	小平 裕明
監事	渡辺 良勝
監事	榎本 数隆

任期：令和4年6月16日～令和6年度定時評議員会終結時

評議員	奥住 日出男
評議員	橋本 栄萬
評議員	加納 秀一
評議員	奥住 登

任期：令和2年6月18日～令和6年度定時評議員会終結時

## 緑の募金

4月～5月を推進月間として取り組んだ『緑の募金』は、自治会・老人クラブ・各事業所をはじめ、多くの皆さまの緑化に対する深いご理解とご協力により、たくさんの善意が集まりました。この募金は東京都内の森林整備等の事業に活用されるほか、一部は当協会にも還元されて市内花壇への花卉植付けにも役立らせていただきます。

令和5年度募金総額 (9月末現在) **1,409,876円**

## 法人化35周年

を迎えて

常務理事 福田 博保

公益財団法人日野市環境緑化協会は、昭和64年1月6日に財団法人化され、平成24年の公益財団法人への移行を経て今年度、法人化35周年を迎えることとなりました。これも、市民の皆さまのご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。とりわけ愛護会活動にご尽力いただきました皆さま、また当協会の事業にご協力いただきました各関係機関の皆さまにも御礼申し上げます。

さて、この間、環境を取り巻く情勢は大きく変わり、地球温暖化などの様々な環境問題が発生し、その対策は待ったなしの状況となっております。当協会では、今後も市民の皆さま及び各関係機関の皆さまのご協力を賜りながら、緑でつながるひろがりを目指し、SDGsの目標「11住み続けられるまちづくりを」「15陸の豊かさを守ろう」の「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」などの実現に寄与して「緑豊かなまち日野」のさらなる実現を目指して、各事業を展開してまいりますので、今後ともご理解ご協力の程、よろしくお願いたします。

# 令和5年度事業実績 (その1)

## \*\*\* 緑のリサイクル \*\*\*

ご家庭で増えすぎた球根や花の苗などをご提供いただき、植物の愛好家へ配布する人気のイベントです。

今年は、ご提供いただいた、209種・1277点を4月22日(土)に配布しました。また、腐葉土や肥料の販売と、協会職員による「花と緑の健康相談」も行いました。



## \*\*\* 子ども昆虫教室 \*\*\*

7月8日(土)に市内小学生を対象に実施しました。標本鑑賞や神明野鳥の森公園での昆虫観察など、夏の楽しい思い出ができました。



## \*\*\* ポットマム・スプレー菊の育て方講習会と菊苗の無料配布 \*\*\*

日野市の花である「菊」の普及と、秋に開催する「菊花コンテスト」に出品していただくため、夏の恒例行事となった、菊の無料配布を行いました。今年は、部門別に併せて約5,000本の菊苗を配布し、育て方の講習会も行いました。



## \*\*\* 庭木の手入れ講習会 \*\*\*

10月6日(金)に、日野緑進会より講師を迎え、剪定を中心とした庭木の手入れの基礎を学びました。今年は、屋外での剪定実演もあり、すぐ役立つ知識を学ぶことができました。

# 令和5年度 今後の事業予定

※写真は昨年度のもの

## 稲わら・竹細工講習会

日野産材の稲わらや竹を使用し、お正月用のミニ門松を作る講習会です。協会職員が作り方を丁寧に指導します。

開催日：令和5年12月15日(金) 午前・午後の2部開催(各部定員15名)



## 緑の写真展

日野市内でお気に入りの風景や、ご自宅できれいに咲いたお花の写真などご出展ください。

テーマ ①日野の四季  
②わが家の緑



応募締切 令和5年12月22日(金)  
展示期間：令和6年1月9日(火)～19日(金)  
展示場所：日野市役所1階市民ホール

※応募要領・応募票は、協会ホームページからダウンロードできます。

## 緑化講習会

ガーデニングの基礎を学びつつ、日頃の疑問もここで解消!

◆ 春の草花・家庭果樹の管理講習会  
開催予定日

令和6年2月2日(金)  
※広報ひの1月号掲載予定

◆ ガーデニング講習会  
開催予定日

令和6年3月8日(金)  
※広報ひの2月号掲載予定

※詳しくは、いずれも協会ホームページをご覧ください。(https://www.hinoryokka.org/)

# 菊花事業のご紹介

日野市の花である「菊」の普及のため、緑化協会では様々な菊花事業に取り組んでいます。毎年、多くの方々のご協力のおかげで、秋には色とりどりの菊が咲き誇ります。3ページでご紹介した、菊の無料配布や育て方の講習会の他にも下記の事業を行っています。

## 貴重品種「白多摩・黄多摩」の配布

現在、緑化協会だけが継承しているカサギクの貴重品種「白多摩・黄多摩」は、花が咲く前の9月下旬に市役所を始めとする小学校や図書館など市内33カ所の公共施設にお配りし、11月中旬頃まで、市民の皆さんに楽しんでいただいています。



白多摩



黄多摩



緑化協会前

## 菊花コンテスト

展示期間: 令和5年11月2日(木)～11月15日(水)

夏に部門別に配布した菊苗を、花が咲いた秋に募集し、11月2日(木)に菊の専門家による審査を行い、下記の入賞者を決定しました。また、11月15日(水)には、ひの煉瓦ホールで表彰式を行いました。今年は、菊苗の育苗段階はもちろん配布した後の栽培にも大きな影響を及ぼすほどの飛びぬけた暑さの中、例年にはない苦労や努力、そして工夫があったと思います。菊花事業にご協力いただいた皆さまに、この場を借りてお礼を申し上げます。



▲市民一般の部 市長賞



▲小学校の部 市長賞



▲老人クラブの部 市長賞

**応募総数**

●市民一般の部 23名 39鉢 ●老人クラブの部 8団体 74鉢 ●小学校の部 11校 110鉢

### 令和5年度 配布苗菊花コンテスト受賞者一覧

(敬称略)

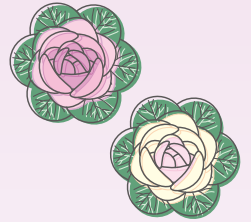
賞名	市民一般の部			老人クラブの部	小学校の部
	ポットマムの部	スプレー菊の部	大菊の部		
日野市長賞	田中 弘	菊地 邦雄	菊地 邦雄	豊寿会	東光寺小学校
日野市議会議長賞	山鼻 茂子	山鼻 茂子		桜の会	滝合小学校
日野市教育委員会 教育長賞					七生緑小学校
(公財)日野市環境 緑化協会理事長賞	加藤 慶	加藤 慶	古川 信之	平山長生会	日野第七小学校
日野市老人クラブ 連合会会長賞				親和会	
日野市菊友会会長賞	旗野 英明	田中 弘			
東京南農業協同組合 代表理事組合長賞	近藤 啓治	近藤 啓治		川北クラブ	

恒例！！

# ガーデニング講座

## ～ハボタンの1年～

ハボタンは、お正月に欠かせない植物ですが、その他にも花壇や寄せ植えなど、冬のガーデンを彩る主役級の存在です。そんな身近なガーデニング素材であるハボタンを種から育ててみませんか！？



今回のガーデニング講座は、採種から見頃を迎えるまでのハボタンの1年と育て方のポイントを解説します。

### 5月下旬～6月上旬 種の採取



◀日野市役所玄関前のプランター  
役目を終えたハボタンは世代交代のボタン(種)を用意します。

冬には葉が鮮やかに色づき、春になると黄色の花を満開にさせ楽しませてくれたハボタンですが、臺(とう)がたった体は春の強風に倒され、アブラムシの発生などで観賞価値はなくなっていきます。ちょうどその頃、カラカラになったさやに種がたくさんできていますので、採種してまき時になるまで冷暗所で保管します。

### 7月中旬～8月中旬 種まき

種のまき時になったら、十分湿らせた種まき用の用土に、パラパラと種をまき、霧吹き等で水やりし、乾かないように管理します。容器の代用として、卵のパック、ペットボトルを切った物などは、乾燥防止と少量で育てたい時に便利です。

発芽するまで、霧吹きなどで水やりし、乾かさないう管理します。



▲卵パックを利用した種まき



▲発芽までの水やり

### 発芽～ポット上げ



▲発芽の様子



▲ポット上げ後

種まきから3日後、次々と発芽してきました。とても生命力を感じる愛しい瞬間です。

この後は徒長しないよう、日当たりと風通しのよい屋外で管理し、水のあげすぎにも注意します。

また、苗と苗が重ならないように、間引きし、週に1度くらい薄めた液体肥料を施し、丈夫な苗に育てます。

双葉が見え始めた頃、ポットや花壇などに植付けます。

### アオムシに負けるな！秋の低温で発色！

ハボタンは、とても育てやすい植物ですが、アオムシなどの虫に好まれます。葉が命ですから虫食いだけでは残念な苗になってしまいますので、定期的に薬剤の散布をするか、葉の裏をチェックし卵があれば除去します。気温が下がってくると葉が色づきはじめ、いよいよ見頃を迎えます。



#### \* 育て方のポイント \*

- ①種の採種は5月下旬～6月上旬頃、まき時は7月中旬～8月中旬頃
- ②ポット上げする時は、しっかりと深く植付ける
- ③ポットの大きさと苗の大きさも調節できる
- ④アオムシ、ヨトウムシなどによる食害対策をする **重要**
- ⑤肥料分が残ると発色に影響するので、施肥には液体肥料を使用し、気温が下がるまでとする

### 花の交流広場

市民の皆さまにお持ちいただいた花の種を無料でお配りする年間を通して行っている事業です。種の種類はその時々で違いますが、一般ではあまり流通していない貴重な種があることも…！最近はお持ちいただける種が少なくなってきているので、是非ご協力をお願いいたします。今年度は、職場体験で協会に来てくれた、市内の中学生が袋詰めを手伝ってくれました！



### ハボタンが植えられた花壇やプランター

緑化協会の管理花壇でも種から育てたハボタンの植付けを行っています。7月頃種まきをし、2度の移植を経て大きく育てたハボタンを、日野市役所前プランターなどに植付けています。是非お近くでご覧になってみてください。



神明上グリーンベルト花壇



日野市役所前プランター

※年度によって花卉の種類が変更になる場合があります。

# 作文集 「緑のまち」

市内の小学四年生と六年生を対象に作文を募集しました。今年には各学校内での事前審査（半数程度）を経て、一〇一九名の応募がありました。

この中から八名の審査委員により入選作一一編が選ばれ、カット五九作品と共に作文集を発行します。ここでは優秀賞の中から三作品と審査委員長の講評を掲載します。

## おじさんと カワニナ

日野第五小学校

四年五組 平野 樹

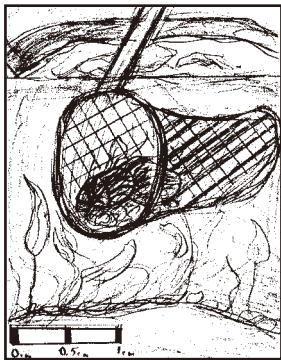
ぼくが昔住んでいたところの近くに黒川清流公園がありました。その時コロナがはやっていたこともあり黒川清流公園にはよく行きました。公園では、林の中のクヌギの樹えきを集まるカブトムシやクワガタを早朝に

探しに行ったりわき水が流れるきれいな川の中にいるザリガニやエビをとったりしました。また、くらやみの中で緑色に光るホタルを見たこともあります。二年生のある日、小エビをとろうとしてあみで川の中のじゃりをすくっていたら、「川の中の貝をとるんじゃない」と知らないおじさんからとつせん声をかけられました。ぼくはその時「なぜそんなことを言うんだろ」「おこらなくてもいいの

に」と思いました。

その時ぼくは、おじさんが言ったことの意味がわかりませんでした。その後、黒川清流公園で見られるホタルのようちゅうのえさが川の中にあるカワニナであることを知りました。そしてエビをとるためにすくったじやりの中に、貝が入っていたことを思い出しました。おじさんは、ホタルなどの黒川の自然を守ろうとしていた人だと分かりました。

ぼくも、おじさんみたいに黒川清流公園を大切にしたいからカワニナをとらないことをみんなにつたえたいです。



## 笑顔の おいしい野菜

豊田小学校

六年二組 大山 咲希

「あ、あれ小松菜だ。」

と弟の陽介が叫んだ。車で日野市を走っているとよく畑を見かける。日野市には野菜を作っている人がたくさんいる。そして、陽介もその一人だ。陽介は今年の三月ごろから市民農園を始めた。日野の農家のおじいちゃんたちに、野菜の育て方を教えていて、どんなに暑い日も畑に通い、楽しそうに野菜の世話をしている。たくさん野菜を嬉しそうに持ち帰ってくる。そして驚いたことに陽介は野菜を生で食べるようになった。トウモロコシやピーマン、苦手だったトマトまでもだ。

そこで私も陽介の農園に行ってみることにした。到着し最初に思ったことは、たくさん畑があり、道具もきれいに整備されていて、温かい雰囲気のところだということだ。

早速、陽介に教わりながらも収穫を経験した。トウモロコシは、茎の部分もち実をしたに体重をかけながら、ボキッと折った。そうすると、折ったところから水がしみだした。ピーマンやナスも収穫した。収穫はさみでちよっきんと切った。私は、普段トウモロコシを食べなければいけれど、陽介の育てたのは甘くて食べることができた。

そこで私が気づいたのは、当たり前に見える野菜も育てている人がいるということだ。作っている人の顔が分かることでよりおいしく野菜を食べることができると。これからは、作ってくれる人に感謝して大切に野菜を食べていきたい。

## 緑で笑顔が あふれるように

潤徳小学校

六年二組 細田 彩乃

私は、小さなころから地域の

町内ゴミ拾い掃除ボランティアに参加しています。参加者はいつも二十人くらいで、多くが高れい者のかたです。私のような子供は三人ほどこしか、いません。

実際にゴミ拾いをする、捨てられていくゴミの中で特に多いものがタバコ、ペットボトル、ビニール袋などです。地域の人が育てている花だんや、道路の

植えこみにもゴミが捨てられています。私は、その光景を見るたびに悲しい気持ちになります。きつと花を育てた人には、それぞれの思いがあると思うからです。

どうしたら、ゴミを捨てる人が減るのか考えてみました。タ

バコなどは、きつえん可能場所や灰皿設置場所が分かる地図アプリがあると良いと思いました。

レジ袋などは、会社名だけでなくゴミを捨てないように呼びかける言葉やイラストを印刷すれば良いのではと思いました。

ゴミ拾いに子供も参加してもらう工夫として、スタンプラリーや参加回数でポイントがたまるなど、楽しい取り組みがあると良いのかなと思いました。

私は、通学路に植えられているお花が「いつてらっしゃい」と言ってくれているようで大好きです。

ゴミを捨てないことで、大切な緑を少しずつ増やして大切に守っていかたいなと思いました。



## 一人の百歩より、百人の一步

審査委員長

日野第七小学校 溝 越 勇 太

「二人の百歩より、百人の一步」。これは、日野市

環境保全課の職員の方に教わった言葉です。自然を守るために一人が百努力するよりも、百人が一つ意識して生活した方がいいという

のです。一人が百努力するのは大変で、それを継続するのは大変で、それを無理が生じてきます。でも、みんなで一ずつ、少し意識して身の回りの自然を守っていけば、それは大きな力となり、この先もずっと続いていくのだらうと思います。

今年も日野市環境緑化協会主催の「緑のまち」に、日野市内十七校の四年生と六年生がたくさんの作品を寄せてくれました。新型コロナウイルスが第5類となり、人とのかわりや体験学習などがコロナ前に戻ってきたなど、子供たちの作

文を読んでいて嬉しくなりました。

「カワセミの美しさに感動しました」

「橋から見る多摩川の景色が私の一番のお気に入りです」

「菊を育ててみて命の大切さが分かりました」

子供たちの感動や驚き、感謝の気持ちが作文から伝わってきました。今は、タブレットで調べれば情報が手軽に手に入る時代。しかし、心が動いた「本物」の体験には敵いません。きつと、カブトムシが成虫になった喜びやホタルを初めて見た感動、食べられなかったはずのトマトの甘さに気付いた体験は一生忘れないことと思います。また、作文の中にはこんな言葉もありました。「昔よりも畑や緑が少なく

なっていると聞き、ショックでした」

「お父さんとごみ拾いをするときと比べるとお父さんが落ちていて悲しくなった」

自然が豊かだと言われている日野市でも、実は緑が減ってきているのです。日野市の現状をどうにかしたい、自分たちの手で緑を守っていくのだという児童

がたくさんいることに頼もしさを感じました。黒川清流公園でおじさんに怒られた意味が分かった、そんな大人になりたい、という児童までいました。まさに「二人の百歩より、百人の一步」を子供たちが実行していることに胸が熱くなりました。

この素敵な「緑のまち」作文がこの先もずっと続いてほしいと願っています。

# 公園紹介



**公園愛護会募集!!**

## 万願寺の渡し公園

279㎡・石田441-42



公園東側には多摩川が流れ、近くには、日野第四小学校があります。入口は狭いですが、奥にはスペースが広がり、滑り台やパンダやゾウのスプリング遊具があります。ハナミズキ、サルスベリやつつじなどのお花が咲いて、とてもキレイな公園です。最寄りには京王線の百草園駅。

## 前田公園

235㎡・南平7-7-33



北野街道沿いであり、中央大学の寮に隣接しています。小さな公園ではありますが、カメの座具を中心にタイヤブランコ、鉄棒や砂場など子ども達が多く遊ぶ遊具が充実しています。木陰の下に遊具があるので少し涼しく、子ども達も気持ち良く遊べますね。最寄りは京王線の南平駅。

## 日だまり公園

356㎡・程久保8-21-5



程久保神明神社に隣接し、斜面を利用した公園の中央に長い階段があるのが特徴的です。公園には一人用のタイヤブランコがあります。地形的に夏は風を受け涼しく、冬は風が遮られぽかぽかと暖かい日だまりが出来るのが名前の由来のようです。最寄りにはモノレールの多摩動物公園駅。

## 稲荷沢公園

400㎡・三沢5-7-7



山の中腹辺りの住宅街にある公園です。タイヤブランコ、鉄棒、砂場があります。椿、アジサイ、ハナミズキ等があり、春には大きな桜が見事な花を咲かせます。公園東の沢の入口付近に稲荷を祀る小さな祠があったことが名前の由来のようです。最寄りにはモノレールの程久保駅。

..... 自宅近くの公園で愛護会として清掃活動しませんか? .....

ご興味がある方はお気軽にご相談ください。

愛護会とは…清掃・除草に必要な道具やゴミ袋等を購入する費用をお支払いする有償ボランティアです。



### 募集している公園 (上記4公園を含む)

- ・淡水区東公園 (413㎡・万願寺6-7-1) ・新東光寺公園 (468㎡・栄町3-6-12) ・姥窪公園 (302㎡・新町3-6-10)
- ・姥窪南公園 (311㎡・新町2-2-12) ・川久保公園 (192㎡・日野1360-4) ・栄町公園 (207㎡・栄町4-3-24)
- ・根田公園 (169㎡・南平8-18-29) ・鼻どり田公園 (459㎡・南平7-23-9) ・大六天公園 (267㎡・多摩平1-14-96)
- ・谷戸口公園 (390㎡・程久保1-23-22) ・渡船場西公園 (150㎡・百草1265-20) ・上落川公園 (488㎡・落川2106-1) など

※お申し出いただいた時期によってお受けできない場合があります。

## 編集後記



今年1年を振り返った時、人それぞれ印象に残った事は違うかもしれませんが、多くの人が夏の暑さに翻弄されたのではないのでしょうか!?

今年は、「過去最高の暑さ」、「災害級の暑さ」などの言葉と共に、「こまめな水分補給や休憩」や、「冷房の適切な使用」なども毎日のように耳にし、日常的に熱中症には注意されていた方がほとんどだとは思いますが、それでも家族のかかりつけの医師から聞いた話によると、エアコンの設定温度が高めだったり、夜中に使用をやめてしまったりすると家の中でも熱中症になる場合も多いそうです。

「家族とケンカしてでも冷房を使わないとダメですよ。」との言葉が、夏の暑さの深刻さを物語り、とても記憶に残るものになりました。

来年以降も異常が通常になりそうな気象に注意したいものです。

[M・H]

## 四中の生徒さんが職場体験に来ました!

~台風の中お疲れ様でした~

日野第四中学校の生徒3名が職場体験学習で緑化協会に来てくれました。1日目は残暑厳しい中、腐葉土の袋詰めや畑での耕うん作業を体験しました。2日目は悪天候のため、種子の袋詰めなどの屋内で行う業務に取り組みました。短い時間でしたが、協会職員にとっても楽しい2日間となりました。

\*\*\*職場体験学習後の感想をいただきました!\*\*\*

- ◆暑い日でも外で作業をやられていると思うと大変だと感じました。(小栗)
- ◆環境緑化協会さんが日野市の様々な場所で植物に関する活動をされていることを体験を通して知ることができました。この経験を活かしてこれから植物と関わっていきたいと思います。二日間ありがとうございました。(山下)
- ◆暑い日も寒い日も畑の仕事や公園の清掃をがんばってやっています。ありがとうございました。(宮澤)

